

TASP下北研修会

(保育・指導要録のための発達評価シート)

～幼児期の適応行動の把握と個別支援計画への方向付け～
及び

「あそびを通じた社会性・コミュニケーションの発達状況の把握」に関する
簡易なアセスメント手法



【TASPとは?】

TASP(タस्प: Transitional Assessment Sheet for Preschoolers)は、保育園・幼稚園・認定こども園の「要録」作成の際に、客観的な基準で子どもの発達を評価できるシートです。

【客観的な発達の評価とは?】

TASPは、開発にあたって、就学前に見られた子どもの発達の特徴と、就学後の不適応行動の関連について、10年に渡って4,000名以上の子どもたちを保育園から中学校まで追跡調査をしました。こうした大規模な調査によって、一般的な子どもの特徴と比べて、発達障害特性を把握し、その後の学童期以降のリスクを、大規模データを基に予測することが可能です。従来の保育士・幼稚園教諭の文章による記述と併せることで、より客観的に子どもの発達を評価することができるツールです。

【今回の研修会で学ぶことは?】

TASPを活用して、どのように子どもの状態像を把握していくのかを学びます。TASPは簡単に実施でき、支援の方向性を考えることができます。また、遊びを通じた社会性・コミュニケーションの発達状況に関する簡易なアセスメント手法についても学びます。「実際に何から進めればいいのか」を社会発達にフォーカスし、アセスメントから支援の流れについての講義で構成されています。

【事例検討会(第2回目:2/11(水・祝)開催)について】

本研修事業は年2回で構成されています。1回目(9/14)の講義を受講された方の中で、実際に地域で本プログラムを実施された支援者と、受講希望者を対象に、第2回目は事例検討会を計画しています。
※令和8年2月11日(水・祝)実施予定。※第2回目の受講は必須ではありません。1回目のみの受講も可能です。

【日時】

(第1回目)令和7年9月14日(日)10:00～16:00

※受付9:30～

【会場】 むつ来さまい館イベントホール(むつ市田名部町10番1号)

【対象】 下北地域の保育士、幼稚園教諭、児童発達支援センター及び児童発達支援事業所
相談支援事業所、教育、医療 等 支援者 (定員50名)

※現在、未就学児の支援に携わっている方が対象です。

※定員になり次第、受付を終了いたします。ご了承ください。

※定員を超えた際には、お断りする場合があります。その際は、こちらからご連絡いたします。

【講師】 中京大学 現代社会学部 コミュニティ学専攻 教授 辻井正次氏 (NPO法人アスペ・エルデの会)

中京大学 心理学部 臨床心理学領域 准教授 浜田恵氏 (NPO法人アスペ・エルデの会)

青森県立保健大学 健康科学部 社会福祉学科 准教授 田中尚樹氏 (NPO法人アスペ・エルデの会)

【受講料】無料 ※本事業は、令和7年度日本財団助成事業です(事業受託先:NPO法人アスペ・エルデの会)

【申込締切】令和7年9月11日(木)

【お申込み方法】

☆下記よりお申込みください☆



【後援】むつ市・大間町(案)・東通村(案)

【問合せ先】青森県発達障がい者支援センター「ステップ」 Tel ☎:017-777-8201